

# 謹賀



大館市議会議長  
藤原美佐保

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、日頃から、市議会の運営に関しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

3年続きの豪雪と観測史上最低気温を記録して始まった昨年は、天候が市民生活に少なからず影響を与えた一年となりました。

大雪による家屋の倒壊や屋根からの転落事故、春先の暴風による住宅や農業施設への被害、そして「大文字まつり」は雨にたたられ、昭和62年以来2度目の中止を余儀なくされました。一方で、40回目を迎えた「大館ぎりたんぼまつり」は、樹海ドームでの初開催となり大盛況のうちに終了し、今秋実施される秋田デザイン・ファッションキャンペーンを見据えた集客の大幅増に弾みをつけるとともに、今後の市の活性化・産業の発展が期待される新たな動きが見られた年となりました。

国内に目を向けますと、震災の爪跡は深く、被災地の復興は思うように進んでいません。また、歴史的な

円高に加え、外交・安全保障の問題は国内経済に大きな影を落としています。地方においても長引く景気の低迷による雇用情勢の悪化や人口減少、高齢化など様々な課題が山積んでいます。

そのような状況の中、本市においては、新たな企業の進出や設備投資による新規の雇用が見込まれ、今後の雇用環境の改善が大いに期待されるものです。

今、地方行政は、税収減に加え、政権交替の及ぼす影響など、その先行きは不透明です。しかし、そうした時代にあっても、地域経済の活性化を図り、常に住民の福祉向上に努めていかなければなりません。

市議会としても、これまで以上に議会の改革・活性化に取り組み、地域力が発揮され、力強く躍進する大館市政を目指し、より一層の努力をしましてまいりますので、市民の皆様の変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

迎えた新年が、大館市にとって最良の年となりますようお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。